

実施報告書

1. 確認事項等

施設番号	66-0721										
施設名	多摩境敬愛保育園										
施設所在地	町田市小山町4464										
法人名	社会福祉法人敬愛学園										
活動期間	令和	6	年	5	月	から	令和	7	年	3	月
活動内容の公表	✓	活動報告書を作成し、園のホームページ等で公表した。									
	公表したホームページ等のURL				http:// www.keiaigakuen.com/hoikuen/tamasakai/						

2. 活動報告（注1）

番号	1											
テーマ	光											
実施回数・期間 (注2)	5月～2月(内訳:0歳1回、1歳1回、2歳1回、3歳5回、4歳3回、5歳2回)											
対象クラス・ 対象人数	0歳児クラス		1歳児クラス		2歳児クラス		3歳児クラス		4歳児クラス		5歳児クラス	
	9	人	10	人	12	人	17	人	17	人	16	人
活動内容 (注3)	カラーセロファン、懐中電灯、ライトテーブル、影絵シアターなどを使い、光と影など形が変化する様子や様々な素材に光を当てて光の屈折や反射などを試しながら、光と様々な物の関係性と変化について探究した。											
活動における チェックリスト	✓	グループ単位での活動等により、乳幼児同士の対話、関わりを促した。										
	※乳幼児同士の関わりを促すためにどのような工夫をしたか クラス単位や、グループに分けて活動を行い、自分の考えをフィードバックしたり、友達と意見を共有したりしながら活動を行った。											
	✓	活動中の乳幼児の言葉、表情、ジェスチャー等の表現に着目し、メモ・写真・映像等で記録した。										
	※記録をどのように行ったか 活動の様子はタブレットを用いて写真や映像にて記録した。											
	✓	乳幼児一人ひとりが主体的に活動できるよう配慮した声掛け等を行った。										
	※主体的な活動のためにどのような工夫をしたか 子供たちが自由に道具を使用したり、素材を選んだりしながら自分の興味に基づいて自由に活動できる環境を整えた。											
	✓	記録をもとに、乳幼児の関心や発見、表現を振り返った。										
	※振り返りの実施方法 2月の職員会議研修(全職員参加)で、記録や映像を見ながら振り返りを行った。記録をもとに、子供たち一人ひとりが何に関心を持ち、どのように遊びが広がったり、探究したりしたのかについて理解を深めた。											
	✓	幼稚園等の各施設の教諭同士や保護者等に、探究活動の内容を共有した。										
	※教諭や保護者等への共有方法 保護者に対しては、情報共有ツールを使ってお知らせした。 加えて、園のホームページにおいても活動内容を掲載した。											
	✓	次の探究活動の更なる充実に向け、新たな問いや環境の構成を考えた。										
	※継続的な実施のための工夫 活動中の子供たちの反応や興味関心に着目し、子供の言葉やアイデアを取り入れながら環境構成や活動内容を適宜工夫し、活動を発展させた。											

（注1）活動報告は、複数の活動内容を実施した場合は、活動ごとに記入してください。

（注2）「実施回数・期間」欄には、今年度に継続的（月を単位とする複数月）に実施した取組の実施状況を記入してください。なお、原則、単発で実施した取組については対象になりません。

（注3）「活動内容」欄には、どのような取組を行ったのかわかるよう記入してください。また、活動報告書等、取組を行ったことがわかる書類の写しを提出してください。

2. 活動報告（注1）

番号	2											
テーマ	自然											
実施回数・期間 (注2)	5月～2月(内訳:0歳1回、1歳1回、2歳1回、3歳6回、4歳2回、5歳2回)											
対象クラス・ 対象人数	0歳児クラス		1歳児クラス		2歳児クラス		3歳児クラス		4歳児クラス		5歳児クラス	
	9	人	10	人	12	人	17	人	17	人	16	人
活動内容 (注3)	顕微鏡、マイクロスコープ、電子黒板などを使い、身近な自然物に関心を持って調べたり、観察したりした。肉眼では見えにくい昆虫の羽や葉っぱの葉脈など不思議な模様に興味を持って図鑑で調べたり探求を深めた。											
活動における チェックリスト	✓	グループ単位での活動等により、乳幼児同士の対話、関わりを促した。										
	※乳幼児同士の関わりを促すためにどのような工夫をしたか クラス単位や、グループに分けて活動を行い、自分の考えをフィードバックしたり、友達と意見を共有したりしながら活動を行った。											
	✓	活動中の乳幼児の言葉、表情、ジェスチャー等の表現に着目し、メモ・写真・映像等で記録した。										
	※記録をどのように行ったか 活動の様子はタブレットを用いて写真や映像にて記録した。											
	✓	乳幼児一人ひとりが主体的に活動できるよう配慮した声掛け等を行った。										
	※主体的な活動のためにどのような工夫をしたか お部屋にらぼコーナーを用意し、顕微鏡やマイクロスコープを設置し主体的に観察ができるように環境を整えた。											
	✓	記録をもとに、乳幼児の関心や発見、表現を振り返った。										
	※振り返りの実施方法 2月の職員会議研修(全職員参加)で、記録や映像を見ながら振り返りを行った。記録をもとに、子供たち一人ひとりが何に関心を持ち、どのように遊びが広がったり、探究したりしたのかについて理解を深めた。											
	✓	幼稚園等の各施設の教諭同士や保護者等に、探究活動の内容を共有した。										
	※教諭や保護者等への共有方法 保護者に対しては、情報共有ツールを使ってお知らせした。 加えて、園のホームページにおいても活動内容を掲載した。											
	✓	次の探究活動の更なる充実に向け、新たな問いや環境の構成を考えた。										
	※継続的な実施のための工夫 活動中の子供たちの反応や興味関心に着目し、子供の言葉やアイデアを取り入れながら環境構成や活動内容を適宜工夫し、活動を発展させた。											

（注1）活動報告は、複数の活動内容を実施した場合は、活動ごとに記入してください。

（注2）「実施回数・期間」欄には、今年度に継続的（月を単位とする複数月）に実施した取組の実施状況を記入してください。なお、原則、単発で実施した取組については対象になりません。

（注3）「活動内容」欄には、どのような取組を行ったのかわかるよう記入してください。また、活動報告書等、取組を行ったことがわかる書類の写しを提出してください。